

作成日：平成 20 年 2 月 7 日

報告者 平松謙治

社日小学校 グランド芝生化 視察報告

日時 平成 20 年 2 月 7 日 (木)

場所 社日小学校 (安来市)

社日小学校の芝生化の歴史

昭和 53 年 開校

校下全世帯参加の教育後援会発足

(PTA 会長らを中心に中庭作りを行なう)

昭和 63 年 10 周年 中庭の芝生植え替え、うさぎ小屋など設置

平成 9 年 20 周年 中庭整備うさぎ小屋改築など

平成 19 年 30 周年 校庭の芝生化

30 周年記念事業

実行委員会組織を立ち上げ実施

実行委員会メンバー：体育協会、自治会、ボランティアほか

実施に際し、グリーンスポーツ鳥取のニールスミス氏などを呼んで指導を頂いている。

使用する芝生：バミューダーグラス種 (ティフトン 415) というもので高麗芝の 30 倍の繁殖力をもつ。このため除草剤などを使用する必要がない。但し、生育が早いので芝刈りを頻繁にする必要がある。

スケジュール

4/30 芝苗取り (大社小学校)

5/1 苗を一本一本ばらしポット (約 40000) へ

ポットの状態で肥料 2 回、水撒き等、ポットの中で成長させる

6/17 芝植え付け 50cm 間隔で植えつける

肥料 3 回 (計 440kg)

7/24 初芝刈り

以後 9 月下旬まで毎週の芝刈り、数度の肥料

9 月には、運動会などを行っている

10/初旬 冬芝の種撒き 210kg

10 日に 1 度程度の芝刈り

(水撒きは、芝が安定するまでこまめに行っている。特に夏場)

初期投資予算

芝刈り機 660,000×1、肥料散布機 130,000×1、ポンプ 50,000×1、ボーリン

グ配管 100,000×1、ホース・スプリンクラー 200,000×1式、ポット 24.5×1600
(5×5)、土(ポット・整地用) 7,000×5、芝生苗代(無償)

合計(税別) 1,214,200円

ランニングコストとして後年度以降、芝刈りに係るガソリン代、冬芝代などが必要

考察

・社日小学校では、地元住民の協力体制、そしてこの事業実施に対する熱い思いを持った方々が引っ張っている印象を持った。

・芝生化の目的として何に重点を置くか?例えばゴルフ場であればいつもきれいに刈り込んでお客様を満足させることが目的であり、農薬などを使ったりするが、この学校に芝生化は、子供たちに安全性や環境教育が目的であり、多少の雑草が混ざっていても安全に遊べる環境を整えば良い。そんな中で地域と学校が良いバランスでこの事業を行っている。

・行政の関与について、この社日小学校の場合は、ほとんどゼロに近い。芝生化に対して許可を出す程度ではないかと思う。(但し、先生方は、ボランティアに協力してもらっている)行政主体で事業を行うと後のランニングコストが財政を圧迫するケースが考えられる。地域の主体性に期待したものである。

・市陸上競技場の芝生について、現在、境港市体育協会が指定管理者として管理しているが芝生の状態は、決して良好とは、いえない。利用者との協議が必要であるが高麗芝からバミューダグラスへの張替えを行えば、安価に緑の芝生を作ることが可能である。また、スポーツ広場も同様。(但し、野球関係者との意見交換が絶対必要)

参考ホームページ:

「低コスト校庭芝生化現地見学会(2006年日本芝草秋季鳥取大会から)

<http://www.toyamap.or.jp/shibafu/shibafu/report/tottori.pdf>